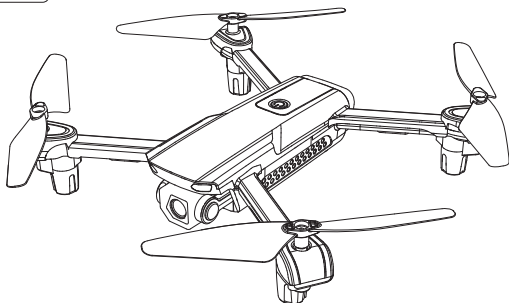


日本語マニュアル

V 1.0



HS155

お問い合わせ先(日本語対応可)

Email : jp@holystone.com

Holy Stone Group: <https://www.facebook.com/groups/hclubjp>

TEL:1(国番号)-8558886699(アメリカの電話番号)

電話受付: 月曜日～日曜日 (旧正月の休みを除く)

受付時間: 日本時間 午前: 9時30分～12時30分

午後: 2時30分～6時30分

※時間帯により電話は混雑している可能性があるため、メールでの連絡をお薦めします。

目次

1. 安全上のご注意（必ずお読みください）	01
2. 【重要】LiPoバッテリーについて	03
3. 同梱品一覧	06
4. 各部名称	07
5. 送信機図解	09
6. 操作モード切替	10
7. フライトの準備	11
8. フライトを始める	16
9. リターンモード	22
10. トリム調整	25
11. 高度維持	26
12. APP機能紹介	27
13. 製品基本情報について	35
14. よくある質問	37
15. 製品サポートについて	39
16. メーカー情報	40

Holy Stoneストア、Holy Stone Group、YouTube、LINE友達追加は以下よりご参照ください。



Holy Stoneストア : www.holystone.com



HolyStoneGroup : <https://www.facebook.com/groups/hclubjp>



YouTube : <http://6jbt.cn/sZolt>



LINE ベーシックID : @842p1fqb

安全上のご注意（必ずお読みください）

警告

保護者の方へ

当製品に使用されている小さな部品は誤飲・窒息の危険があります。3歳未満のお子様に手を触れさせないようにご注意ください。

注意

ここに記載されている注意事項は、本製品を安全にお使い頂き、損害や危害を未然に防ぐためのものです。必ずお読みください。

1. GPS機能の利用について

★本製品はGPS（グローバル・ポジショニング・システム）搭載の屋外専用機ですが、全ての環境/フライトにおいて、GPS信号の捕捉や、信号強度、自動帰還をお約束するものではありません。常にGPS信号をロストする可能性を考慮し、緊急時にはご自身の手動操作で戻せる目視範囲内でのみフライトしてください。

2. フライトについて

★製品をご利用の前に、国土交通省が定めたガイドラインを参照し、ご自身が利用する環境と照らし合せ、問題がない事を確認してから製品をご利用ください。

★【無人航空機（ドローン、ラジコン機など）の安全な飛行のためのガイドライン】

<http://www.mlit.go.jp/common/001228024.pdf>

★当製品は屋外でのフライトを推奨します。ただし、風のある日の屋外では、ドローンが風の影響を受け、安全に飛行させられないことも少なくありません。風のない日のフライトをお勧めします。

★屋外で飛行させる場合、高圧線・公共施設・空港・道路・線

路が近くにある場所や周りに人がいる場所、建物がある場所では絶対にフライトさせないでください。

★電波障害に気をつけてください。ほかの電波使用機器からの影響により、ラジコン用の電波が干渉を受けなどして、ドローンの安全な飛行が妨げられる場合もあります。物理的にも電波的にも障害となるものが無い、見晴らしの良い広いエリアが理想的です。万が一の突発的に起こる電波障害を考慮し、常にあらゆるリスクに備えてください。

★プライバシー確保へご配慮ください。本製品にはカメラが搭載されています。録画/撮影した映像の対象によってはプライバシーの侵害となる恐れがあります。事前に周囲をよく確認していただき、プライバシー確保へご配慮ください。

★プロペラには向きがあります。交換する際は説明書をご参照の上正しく取り付けてください。正しく取り付けないと正常に飛行できません。

3. 怪我にご注意ください

★当製品は14歳未満のお子様に使用させないでください。また、お子様の手の届く場所に保管しないでください。

★近くに対象年齢未満のお子様がいるところでは使用しないでください。

★プロペラは高速回転しますので、大変危険です。飛行中は人の顔や手に接触しないよう十分注意して安全に飛行させてください。特に目に接触した場合、失明の恐れがあります。

★水や火の中に入れたり、分解しないでください。

【重要】LiPoバッテリーについて

本製品にはLiPoバッテリーが使用されています。安全に使い続けるためには適切な状態を保ち、特性上のリスクを考慮して扱う必要があります。以下の注意事項を守り、正しくご使用ください。

1. 使い方

★アプリに表示される機体バッテリー残量を常に意識し、安全のため、30%以下になったら、すぐに帰還させてください。

★バッテリーに変形や匂いなどの異常を見つけた場合は絶対に使用せず、自治体によって決められた方法で廃棄してください。

★バッテリーは絶対に分解、改造しないでください。

★バッテリーの放電は、必ず機体で使用する場合のみとし、それ以外の放電は絶対に行わないでください。

★当製品は飛行機用の充電式バッテリーであり、ほかの用途には使用できません。

★過放電となってしまった場合は以降使用頂くことができません。放電し過ぎないようにご注意ください。また、軽い過放電を繰り返した場合もバッテリーが次第に傷んでいき、充電・放電の時間が極端に短くなり、使用できなくなります。

★バッテリーにUSBケーブルを差したまま放置すると過放電となり、使用できなくなる恐れがあります。速やかにバッテリーからUSBケーブルを抜いてください。

★バッテリーは消耗品です。交換・返品は致しかねます。

2. 充電時の注意

★必ず付属したUSBケーブルおよび専用充電器（別売り）を使い、充電中はその場から離れ、異常事態の発生に備えてください。

★万一充電中にバッテリーが異常に過熱した場合には、絶対にバッテリーに触れず、USBケーブルを外して充電を中止してください。そして、温度が下がるまでバッテリーを安全な環境で保管して下さい。

★リチウムポリマー電池にはメモリ効果がないため、放電無しで追加充電が可能です。

3. フライト中の注意

★墜落・衝突などした際、バッテリーが強い衝撃を受けると膨張したり発火する恐れがあります。可燃物を避けた環境にしばらく放置し事態の生じないことを確認してください。

4. 電池を保管・保存する場合の注意

★バッテリーの保管可能温度は5℃~40℃前後です。性能の劣化を防ぐには25℃前後が最適です。

★自動車内や室内の窓際など、直射日光の当たる場所に放置するとバッテリーが高温となり、自然発火する恐れがあります。そのような場所での保管はお止めください。

★2週間以上使用せずに保管する場合は満充電後3分程度フライトさせ、バッテリー容量が50%~70%程度になってから保管す

るようにしてください。

5. バッテリーの運搬・廃棄

★バッテリーの運搬に際しては、電池表面に力が加わらないよう、ケースに入れて運搬してください。

★バッテリー不用となった場合には、地方自治体によって決められた方法で破棄してください。

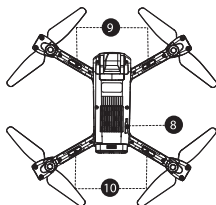
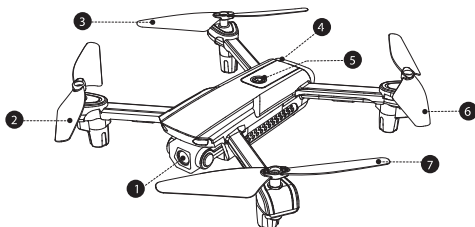
★絶対に火の中に投げ入れないでください。爆発します。

★その他、具体的な廃棄方法については、各自で地方自治体に問い合わせるか、リサイクルを行っている販売店にご確認ください。

同梱品一覧

		
本体	送信機	バッテリー
		
プロペラ	USB充電ケーブル	ドライバー
		
取扱説明書		

各部名称



① カメラ

② プロペラ B

③ プロペラ A

④ バッテリー

⑤ 電源スイッチ

⑥ プロペラ B

⑦ プロペラ A

⑧ TFカードスロット

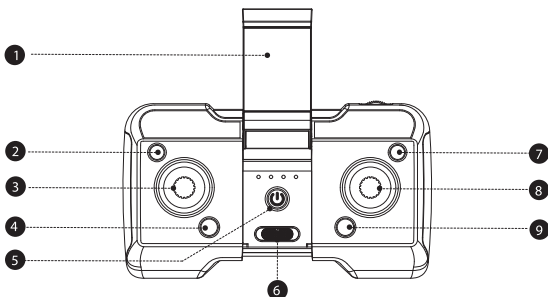
⑨ 前アームランプ

⑩ 後ろアームランプ



電源オン/オフ：電源ボタン “” を長押しするとドローンの電源が入り、もう一度長押しすると電源がオフになります。

・カメラ角度調整：飛行前、カメラを手動で最適な角度に調整してください。



- | | | |
|---------------------------|-------------------|--------------------------|
| ① スマホホルダー | ② 写真撮影
録画（長押し） | ③ 左スティック |
| ④ 離陸/着陸
トリム調整（長押し） | ⑤ 電源スイッチ | ⑥ 飛行速度切替 |
| ⑦ リターンモード
GPSスイッチ（長押し） | ⑧ 右スティック | ⑨ ロック解除/ロック
緊急停止（長押し） |

 **電源オン/オフ：**電源スイッチ “” を押して、送信機の電源をオンにします。電源スイッチを長押しすると電源が切れます。

・ 写真撮影/録画

送信機ボタン “” を一回押すと、送信機が「ピッ」と鳴り、写真が一枚撮影されます。

送信機ボタン “” を長押しすると、送信機が「ピッ、ピッ」と鳴り、録画が始まります。もう一度録画ボタンを長押しすると、録画は終了します。

送信機図解

・飛行速度切替

当製品には低速モード、高速モードがあります。”  ”
をスライドして、飛行速度を切り替えることができます。

スライドすると、「ピッ」と鳴り、低速モードに移行します。
「ピッ、ピッ」と2度鳴り、高速モードに移行します。

・GPSモードオン/オフ

送信機の電源を入れるたびに、ドローンはデフォルトでGPSモードになります。GPSモードをオフにするには、送信機の”  ” ボタンを長押ししてください。

・リターンモード (RTH)

RTHボタン”  ”を押すと、RTHモードに移行し、送信機が「ピッ」と鳴り、機体は記録されたホームポイントに戻ります。

RTHボタン”  ”をもう一度押すと、RTHモードは中止され、機体を操縦することができるようになります。

・緊急停止

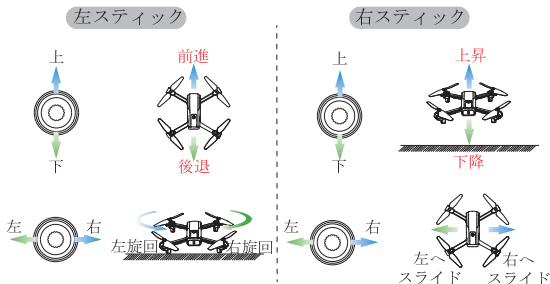
送信機の”  ” ボタンを2秒ほど長押しすると、機体モーターが停止し、墜落します。

 緊急停止機能は、損傷や怪我を避けるために、飛行中の緊急時にのみ使用してください。

操作モード切替

モード1

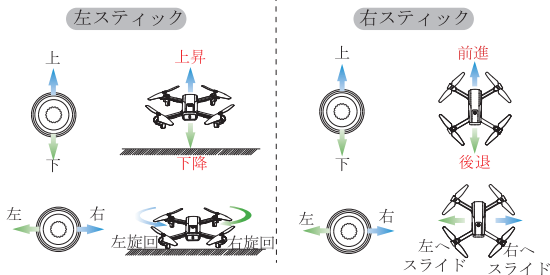
モード1に入るには、“◆”ボタンを押しながら送信機の電源を入れます。（送信機の電源が入るまで、“◆”ボタンを離さないでください。）



⚠ モードの切替はペアリング前のみ可能です。

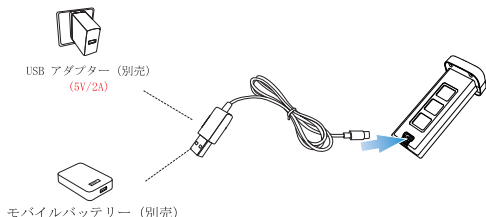
モード2 (デフォルトモード)

左スティックをスロットルスティックとして使用します。



フライトの準備

バッテリーの充電

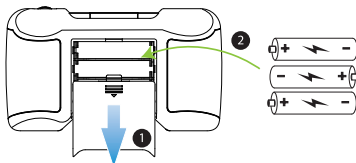


- ① USB 充電ケーブルの端子をバッテリーの充電口に挿入します。
- ② USB 充電ケーブルのもう一方の端子を USB アダプター (5V/2A)、モバイルバッテリーの USB ポートに挿入します。
- ③ 赤色 LED が点灯すると、充電が始まります。
緑色 LED が点灯すると、充電完了となります。
- ④ 充電時間：約 60 分



- 充電する前に、「【重要】LiPoバッテリーについて」の説明をよくお読みください。
- バッテリーが過熱した可能性があるため、飛行直後に機体のバッテリーを充電しないでください。再び充電する前に、室温に冷めるまで待ってください。
- 可燃性の物の近く、またはカーペットや木製の素材など可燃性の物の上で充電をしないでください。

送信機電池の交換



電池カバーをスライドさせて外し、AAA電池3本(別売り)を電池ボックスに装着します。次に、バッテリーカバーをスライドさせて元に戻し、取り付けを完了します。



ー電池を正しく取り付けるために、電池ボックスのプラスとマイナスの極性にご注意ください。

ー新旧の電池、異なる種類・タイプの電池は混用しないでください。

ー使い切った電池は直ちに機器から取り外して処分してください。取り外した電池は、お住まいの地域のゴミ処理手順に従って廃棄するようにしてください。

専用アプリのダウンロードとインストール



iOS

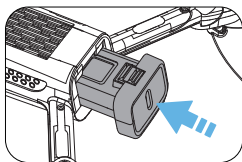


Android APP on Google play

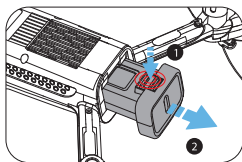
QRコードをスキャンし、無料でAppStore™、Google™Playからアプリ「HS GPS V4」をダウンロードしてください。

アプリに適用できるAndroidバージョンが6.0以上が必要で、iosバージョンは12.0以上が必要です。

機体バッテリーの交換



取り付け：上図の通り、バッテリーを機体へ「カチッ」という音がするまで押すと、バッテリーは取り付け完了です。

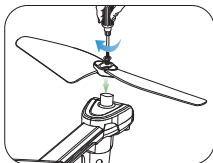
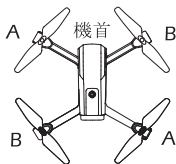


取り外し：上図の通り、ロック部分を下へ押ししながら、外へ取り外します。



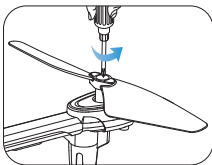
バッテリーはしっかりと取り付けてください。そうしないと、ドローンの飛行に影響を及ぼし、ドローンは飛行中に停電により墜落する可能性があります。

プロペラの交換



取り付け：

- ①プロペラに「A」と「B」を印刷されています。
- ②モーターシャフトの「A」と「B」を合わせて、プロペラをドローンの対応するアームにネジで固定します。
- ③各ネジを時計回りに回します。

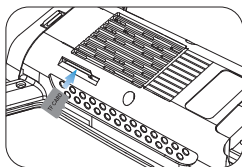


取り外し：プロペラを取り外すには、ドライバーで反時計回りに回転させます。



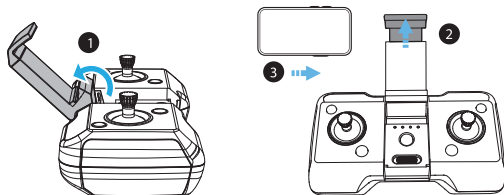
-プロペラを取り付ける時に、アルファベットをご注意ください。正しく装着しないと、正常に飛行できない恐れがあります。

TFカードの装着



写真やビデオを保存するには、TFカード(別売り)をスロットに挿入してください。(利用可能なTFカードの最大容量：32GB)

スマホホルダー



スマホホルダーを広げて、スマホを置きます。ホルダーを調整して携スマホを固定してください。

フライトを始める

ペアリング

モード1を例として。



①“”ボタンを押しながら送信機の電源を入れます。

②機体を平なところへ置いてください。

注意：機尾が操縦者の方に向いていることを確認してください。

③機体の電源スイッチ “” を長押しします。送信機から「ピー」と鳴ると、ペアリングが自動的に完了したことを示します。

ドローンWi-Fiへの接続



ドローンWi-Fi と接続すると、HS GPS V4 アプリでドローンのステータスを確認できます。

①Bluetooth、モバイルデータ、VPNを必ずオフにしてください。スマホのWi-Fi設定に入り、[Wi-Fi]をクリックしてドローンのWi-Fiを検索します。

②Wi-Fi ネットワークを選択します: **HolyStoneGPS-*******

③スマホがドローンWi-Fiに接続されるまで数秒待ちます。

④HS GPS V4 アプリを立ち上げます。

＞ スマホとドローンは自動的に接続されます。

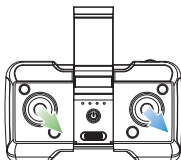


–スマホのWi-Fi設定に進む前に、ペアリングが完了していることを確認してください。

–ドローンWi-Fiはインターネットにアクセスできないため、「安全性の低いセキュリティ」、「インターネット未接続」など、これらのメッセージを無視してください。または、ポップアップが表示された場合は、「Wi-Fiをそのまま接続する」オプションを選択してください。

コンパスリセット

 最初の飛行前に、自動的にコンパスリセットに移行します。したがって、初めてドローンを飛行させる場合は、STEP 1をスキップできます。



STEP 1: 左/右スティックを同時に右下に倒します。送信機から「ピ、ピ」と2回鳴ると、STEP 2に進むことができます。



STEP 2: 平な場所に置いたドローンを上図の通りに3回回転させます。送信機から「ピ」と鳴ると、STEP 3に進むことができます。



STEP 3: 機首を上に向けてドローンを垂直に保ったまま、そして、ドローンを上図の通りに3回回転させます。送信機から「ピー」と鳴ると、コンパスリセットは完了となります。

GPS信号の捕捉

室内の場合、GPS モードを使用しないでください。



GPS信号捕捉完了

コンパスリセットを行ったあと、機体を乾燥した水平な場所に置いてください（信号干渉のないところをお選びください）。

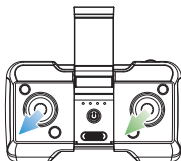
ドローンは自動的にGPS信号の検索を実行します。この過程には約1分間程度かかります。

前アームのLEDが赤色に点灯し、後ろアームのLEDが緑色に点灯すると、GPS信号を捕捉した状態にあることを示しています。



GPSモードでは、ドローンは離陸前にまずGPS信号を検索する必要があります。

ジャイロリセット

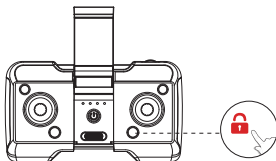


左/右スティックを同時に左下に倒します。その際、ドローンのLEDが点滅から点灯に変わり、送信機から「ピー」と鳴れば、リセット完了です。



機体を安定にフライトされるために、毎回フライトする前に、あるいは衝撃を受けたあと、ジャイロリセットの実施を推奨します。

ロック解除



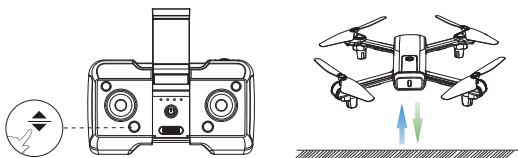
送信機の“” ボタンを押します。送信機から「ピ」と鳴ると、機体のプロペラが回り始めます。その際、ドローンのロックは解除されています。



再度送信機の“” ボタンを押すと、機体がロックされます。

離陸/着陸

⚠ ドローンの紛失を防ぐため、飛行前にGPSモードをオンにしてください。



- ① 離陸：ロック解除したあと、送信機の “” ボタンを押すと、ドローンは高度1.2mまで上昇します。その際、左/右スティックでドローンの動きを制御できるようになります。
- ② 着陸：飛行中、再度 “” ボタンを押すと、ドローンはその場でゆっくりと着陸します。

リターンモード

リターンモードは、ドローンが GPS モードの場合にのみ有効にできます。

RTH (リターンモード) 機能は、機体を最後に記録されたホームポイントに戻すことができます。RTH には、スマート RTH、フェールセーフ RTH、および低電圧 RTH の 3 種類があります。

ホームポイント: ドローンは、離陸または飛行中、初めて強い GPS 信号 (衛星7個以上) を受信した最初の場所をホームポイントとしてマークします。

スマート RTH

強いGPS信号の受信 (衛星7個以上) に、送信機の "  " ボタンを押すと、送信機から「ピ」と鳴り、その際、機体はスマートRTHに移行し、記録されたホームポイントに戻ります。

リターン中、右スティックを上倒すか、もう一度 "  " ボタンを押すと、スマートRTHが停止します。

フェールセーフ RTH

フェールセーフ RTH は次の場合に有効になります:

1. 強いGPS信号を受信すること (衛星7個以上)
2. 記録されたホームポイントがあること
3. 機体と送信機のペアリングが6秒以上切れたこと

フェールセーフRTHが有効になると、機体は事前に記録されたホームポイントに戻ります。

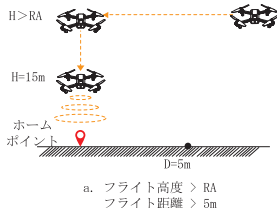
また、帰還中、機体と送信機のペアリングが回復すれば、フェールセーフRTHはその時点で中止され、機体を操縦することができます。

低電圧 RTH

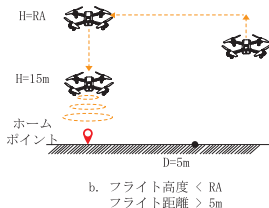
* RA: アプリ設定で設定された帰還高度

① 低電圧 RTH の第 1 段階: 機体の前アームランプが赤色に点灯、後ろアームランプが赤色にゆっくり点滅、そして送信機から「ピ」と鳴り続ける時、機体は低電圧 RTH の第 1 段階に移行します。RTH 順番が2つあります: (低電圧 RTH の第 1 段階が起動すると、ホームポイントを中心に、高さ30m、半径30mの「安全ゾーン」が生成されます。機体がホームポイントの上空に戻ると(これでRTHが停止します)、安全ゾーン内でのみ飛行できます。)

a. 機体のフライト高度はRA以上、フライト距離5m以上の場合、機体はまず記録されたホームポイントの上空へフライトし、ホームポイントまで15m高さのところへ下降し、ホバリングします。そして、低電圧RTHから解除します。

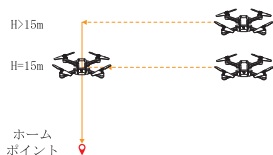


b. 機体のフライト高度はRA以下、フライト距離5m以上の場合、機体はまずRAの高さへ上昇し、そして記録されたホームポイントの上空へフライトし、ホームポイントまで15m高さのところへ下降し、ホバリングします。その後、低電圧RTHから解除します。



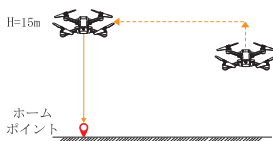
②低電圧 RTH の第 2 段階：機体の前アームランプが赤色に点灯、後ろアームランプが赤色に速く点滅、そして送信機から「ピ」と鳴り続ける時、機体は低電圧 RTH の第 2 段階に移行します。RTH 順番が2つあります：

a. 機体のフライト高度は15m以上の場合、機体はまず記録されたホームポイントの上空へフライトし、そしてゆっくりと着陸します。



a. フライト高度 $\geq 15\text{m}$

b. 機体のフライト高度は15m以下の場合、機体はまず15mの高さへ上昇し、そして記録されたホームポイントの上空へフライトします。その後、着陸します。



b. フライト高度 $< 15\text{m}$

! -低電圧RTH中、RTHをキャンセルすることができません。

-RTH中、機体は障害物を避けることができません。

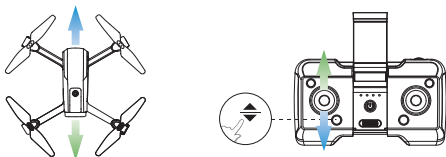
-GPS信号が弱いあるいはGPS機能が正常に作動できない場合、RTHは起動できません。

-機体がGPS信号を受信出来ない状態で、送信機とのペアリングが6秒以上切れた場合、機体はRTH出来ず、その場でゆっくり着陸し、ロックされます。

トリム調整

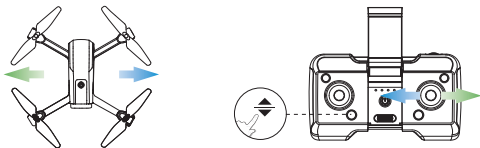


この機能は、機体がGPSモードでない場合にのみ使用できます。GPSモードの場合はトリム調整する必要はありません。



機体が前方（後方）に流れてしまう傾向がある場合：

1. 送信機の “” ボタンを押したまま放さないでください。
2. 左スティックを後ろ（前）に1回倒します。
3. 機体の状態によって、バランスをとるために数回倒す必要がある場合があります。
4. 倒すたびに、2秒間ほど機体の動きを確認してください。それでも流れてしまう場合は、もう一度左スティックを後ろ（前）に倒します。
5. 機体が前方（後方）に流れなくなるまで、STEP4を繰り返します。

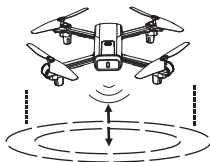


機体が左（右）に流れてしまう傾向がある場合：

1. 送信機の “” ボタンを押したまま放さないでください。
2. 右スティックを右（左）に1回倒します。
3. 機体の状態によって、バランスをとるために数回倒す必要がある場合があります。

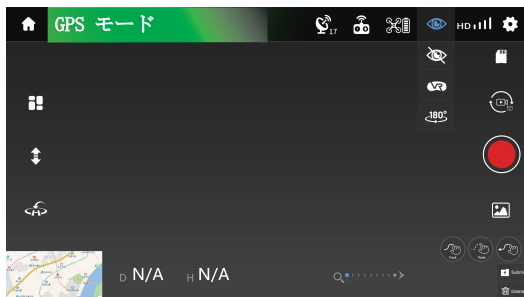
4. 倒すたびに、2秒間ほど機体の動きを確認してください。それでも流れてしまう場合は、もう一度右スティックを右（左）に倒します。
5. 機体が左（右）に流れなくなるまで、STEP4を繰り返します。

高度維持機能



ドローンに高度維持機能が付いています。右スティックを放しても、機体はその高さを保ち、ホバリングします。

APP 機能紹介



	戻る: タップするとホーム画面に戻ります。
	ステータスバー: 現在の機体飛行状態と警告を表示します。
	GPS信号: GPS 信号の強度を表示します。
	リモコン信号: 送信機信号の強度を表示します。
	ドローンバッテリー残量: 現在機体のバッテリー残量をリアルタイムで表示します。
	非表示: タップするとすべてのアイコンを非表示にします。
	3D モード: タップすると 3D モードをオンにします。スマホを VR ゴーグル (別売り) に入れると、ライブフィードを 3D で表示します。
	180° 反転: タップするとスマホの画面が上下逆になります。
	WiFi 信号: スマホとドローン間の信号強度を表示します。
	設定: タップすると設定画面に入ります。飛行高度/距離などの設定を変更します。
	多機能: タップするとさまざまな飛行機能から選択します。

	ワンキー離陸/着陸: 1回タップすると、機体は1.2mの高さまで上昇します。もう一度タップすると、機体はゆっくりと着陸します。
	リターンモード: タップするとRTH 機能を有効にします。機体は自動的にホームポイントに戻ります。
	写真 / ビデオ切替: タップすると写真撮影と録画を切り替えます。
	シャッター / 録画ボタン: タップすると写真を撮影するか、もしくは動画の録画を開始 / 停止します。
	アルバム: タップすると、ドローンカメラで撮影された写真やビデオが表示されます。
	 ウェイポイント1: 機体は画面上に描いたパスに沿って飛行します。(地図をタップして拡大してから、経路を設定してください。)
	 ウェイポイント2: 機体は画面上でタップした点を順番に結んで生成される経路に沿って飛行します。(地図をタップして拡大してから、経路を設定してください。)
	送信: タップすると、選択した機能を送信します。
	削除: タップすると、選択した機能をキャンセルします。
	地図: タップするとマップビューとカメラビューを切り替えることができます。
D N/A	飛行距離: ホームポイントからのドローンの水平距離。
H N/A	飛行高度: ホームポイントからのドローンの垂直距離。
	ズームイン / アウト: スライドするとズームイン / ズームアウトします。

初心者モード

初心者モードはデフォルトモードです。

初心者モードの場合：

1. デフォルトホバリング半径：5m
2. 飛行制限距離：0-30m
3. 飛行制限高度：0-30m
4. デフォルトリターン高度：15m

上記の設定値を変更したい場合は、まず初心者モードをオフにしてください。「飛行設定」ページに入れば、これらの設定値を変更できます。



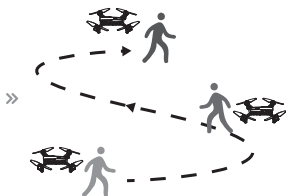
ホバリングモード



1. まずは“”アイコンをタップしてください。次に“”アイコンをタップしてください。指示に従って、ホバリングモードに移行できます。
2. この機能が有効になると、機体は現在の位置を円心とします。そして、設定された半径距離までフライトし、時計回りに旋回を開始します。(デフォルト半径:5m)
3. もう一度“”アイコンをタップすると、ホバリングモードがオフになります。

フォローミーモード

フォローミーモードの場合、機体はスマホの GPS 信号に従ってフォローします。(この機能を使用する前に、機体と送信機の間の接続がしっかりと安定していることを確認してください。)



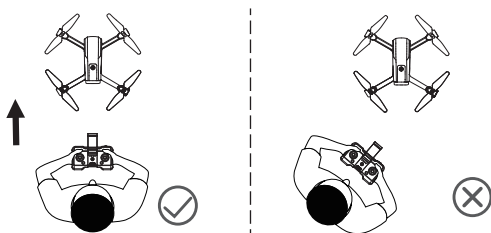
1. ドローンの飛行範囲が5～30m以内であることを確認してください。
2. まずは””アイコンをタップしてください。次に””アイコンをタップしてください。指示に従って、フォローミーモードに移行できます。
3. フォローミーモードを終了するには、””アイコンを再度タップしてください。



- ・フォローミーモードは飛行範囲が5～30m以内の場合にのみ使用できます。
- ・スマホの GPS 信号が弱すぎる場合、フォローミー機能を有効にできない場合があります。これは、周囲の建物、樹木、モバイルネットワークの混雑などからの信号干渉が原因である可能性があります。
- ・飛行エリアは広い屋外で、高い建物やその他の障害物の無いところが理想です。機体は障害物回避機能は搭載されていません。

ヘッドレスモード

機体が操縦者から離れすぎる場合に役立ちます（離れすぎると、ドローンの方向がわかりにくくなります）。機首がどの方向を向いていても、方向スティックをそれらの方向に倒すと、機体はその方向に移動し続けることができます。



操縦者は、離陸時に機首が指す方向と同じ方向を向いている必要があります。



1. まずは“”アイコンをタップしてください。次に“”アイコンをタップしてください。指示に従って、ヘッドレスモードに移行できます。
2. もう一度“”アイコンをタップするとヘッドレスモードがオフになります。

* 機体の方向が重要なのはなぜですか？

通常の飛行モードでは、ドローンの制御は初心者の方の直感に反する場合があります。たとえば、ドローンの機首を操縦者の右に向けている場合、左スティックを前に倒すと、ドローンは前方に移動するのではなく、操縦者の右へ飛行します。

ヘッドレスモードでは、ドローンの方向が固定されます。ドローンが離陸する際、機首が向いている側を常に前側として記憶します。機首を操縦者前方に向けて離陸する場合、ドローンの向き方向に関わらず、左スティックを前方に倒すと、機体は操縦者の前方に飛行します。または、機首が操縦者に向けているときに、右スティックを左に倒すと、ドローンは操縦者の左に飛行します。

写真撮影/録画

- ① “  ”アイコンをタップすると写真を一枚撮影します。
- ② “  ”アイコンをタップすると録画を開始します。もう一度タップすると録画が停止します。
- ③ “  ”アイコンをタップすると、アプリのアルバムで写真やビデオが表示されます。
- ④ 事前にTFカードを装着されている場合、写真とビデオはアプリアルバム、スマホアルバム、TFカードに保存されます。
- ⑤ TFカードを装着されていない場合、写真とビデオはアプリアルバムとスマホアルバムに保存されます。アプリで写真とビデオを表示するには、まずスマホをドローンWi-Fiに接続する必要があります。

ウェイポイント

* 飛行経路を描画する前に地図を拡大することをお勧めします。



1. まずは””地図アイコンをタップしてください。次に””アイコンをタップしてください。そして指示に従って、ウェイポイントモードに移行できます。

ウェイポイント 1: ””アイコンをタップしてください。画面上に線を描いて飛行経路を作成したあと、””アイコンをタップすると経路を送信します。機体はこの経路に沿って飛行します。

ウェイポイント 2: ””アイコンをタップしてください。画面上にいくつかの点をタップします。””アイコンをタップすると経路を送信します。機体は画面上でタップした点を順番に結んで生成される経路に沿って飛行します。

2. もう一度””アイコンをタップするとウェイポイントモードがオフになります。

3. 飛行経路の送信が失敗した場合は、再度送信するか、機能を終了してください。

 人、動物、木、電線、または透明な物体(ガラスや水など)などを避けてください。

 ・マップをダウンロードする:

① スマホでドローンWifiを切断します。

② スマホをインターネットに接続します。次に、アプリに戻り、地図アイコンをタップします。地図は自動的に読み込まれます。読み込みが完了するまで待ちます。

③ スマホをドローンWi-Fiに再接続します。

・予想される飛行経路と実際の飛行経路は完全に一致しない場合があります。

製品基本情報について

機体

型番: HS155

重量: 98g

飛行時間: 14 分(バッテリー1個)

操作環境の気温: 0℃~40℃

サイズ: 252 × 172 × 41 mm

機体のバッテリー

容量 950 mAh

電圧: 3.85 V

種類: リチウムイオンバッテリー

電力量: 3.66 Wh

充電温度: 5℃~40℃

充電時間: 約60分

送信機

使用周波数帯: 2452-2474 MHz

最大な可能操作距離: 150 m (障害物なし、信号障害なし)

電池: 3 x 1.5V AAA (別売り)

操作環境の気温: 0℃~40℃

カメラ

使用周波数帯: 2417MHz

写真画素数: 1920×1080P (TFカード側)

1280×720P (スマホ側)

動画画素数: 1920×1080P@25fps (TFカード側)

1280×720P@20fps (スマホ側)

レンズ: FOV 120°

Wi-Fiのリアルタイム距離: 100 m (信号障害なし)

写真形式: JPG

動画形式: MP4

TFカード: Class10 以上、容量最大32G (別売り)

ファイルシステム: FAT32

USB充電ケーブル

入力: 5V/2A

定格出力: ≤10W

よくある質問

1. ペアリングしたあと、ドローンの後ろアームランプが赤に速く点滅します。

A：ドローンのバッテリー残量が少なくなったため、バッテリーを満充電にしてください。—11ページをご参照ください。

2. ペアリングしたあと、ドローンの後ろアームランプが黄色に点灯し、離陸できません。

A：(1) ドローンがGPS信号を捕捉できませんでした。指示ランプが緑に点灯に変わると離陸できます。

(2) 室外でGPS信号を捕捉できなかったら、広い場所で試してください。高い建物や木の下など障害物のある場所でGPS信号を検索しないでください。

3. ドローンの前アームランプが赤にゆっくりと点滅します。

A：初期検査が失敗しまったため、カスタマーサービスセンターにご連絡ください。

4. ドローンWIFIに接続できません。

A：(1) ドローンWIFIに接続されているデバイスが1台だけかどうかをご確認ください。

(2) 何度か接続をお試しいただくか、ドローン/スマホを再起動をしてみてください。

5. ドローンのホバリング位置が不安定で、一方向に流れます

A：(1) コンパスリセットを行ってください。—18ページを

ご参照ください。

(2) 悪天候時の飛行は避けてください。

6. アプリを立ち上げたあと、地図が表示できません。

A：地図がスマホにインストールされていることを確認してください。アプリを立ち上げたあと、ドローンWIFIを切断し、モバイルデータで現在の位置マップをロードします。

7. フォローミー機能が動作できません。

A：(1) 広い場所であること、スマホのGPSとドローンのGPSがオンになっていて、GPS信号が捕捉されたことを確認してください。

(2) フォローミーモードの有効範囲にいることを確認してください。

8. ドローンが遠くに飛んだ後、機首の向きが分からなくなった際に、どのように制御すれば戻ってくるのでしょうか。

A：リターンモードボタンを押すと、ドローンが自動的に記録されたホームポイントに戻ります。

9. コンパスリセットに移行できません。

A：ジョイスティックの位置が間違っています。左/右スティックを同時に右下に倒してください。—18ページをご参照ください。

製品サポートについて

1)保証・修理規定

初期不良品につきましてはお手数ではございますが、メールにて弊社にご相談ください。ご質問について、弊店は必ず適切な対応をさせていただきます。どうぞご安心ください。

ご使用後の製品の破損などによる修理依頼はメールにてご連絡くだされば、対応をいたします。また、状況により、部品を有償（割引券を提供し）・無償にて提供いたします。

2)お問い合わせ先(日本語対応可)

メールアドレス：jp@holystone.com

Holy Stone Group:<https://www.facebook.com/groups/hclubjp>

LINE ベーシックID:@842plfqb

TEL:1(国番号)-8558886699(アメリカの電話番号)

電話受付：月曜日～日曜日（旧正月の休みを除く）

受付時間：日本時間 午前：9時30分～12時30分

午後：2時30分～6時30分

メーカー情報

1. メーカー

Holy Stoneの各製品ならびにロゴは、Zhangzhou Beiqu Trading CO., LTD. 株式会社の商標です。

Holy StoneならびにHoly Stoneのロゴは、Zhangzhou Beiqu Trading CO., LTD. 株式会社に帰属します。

App Storeは、Apple Inc. のサービスメーカーです。

Google Playは、Goole Inc. の商標です。

本書に記載されたその他のメーカーは、それぞれの所有主に帰属します。

2. 製造元情報

Holy Stone HS155 製造元：Xiamen Huoshiquan Import&Export CO., LTD

Address: Address: Unit 1, Room 501, Hongxiang Building, No.258 Hubin Nan Road, Siming District, Xiamen, China

www.holystone.com